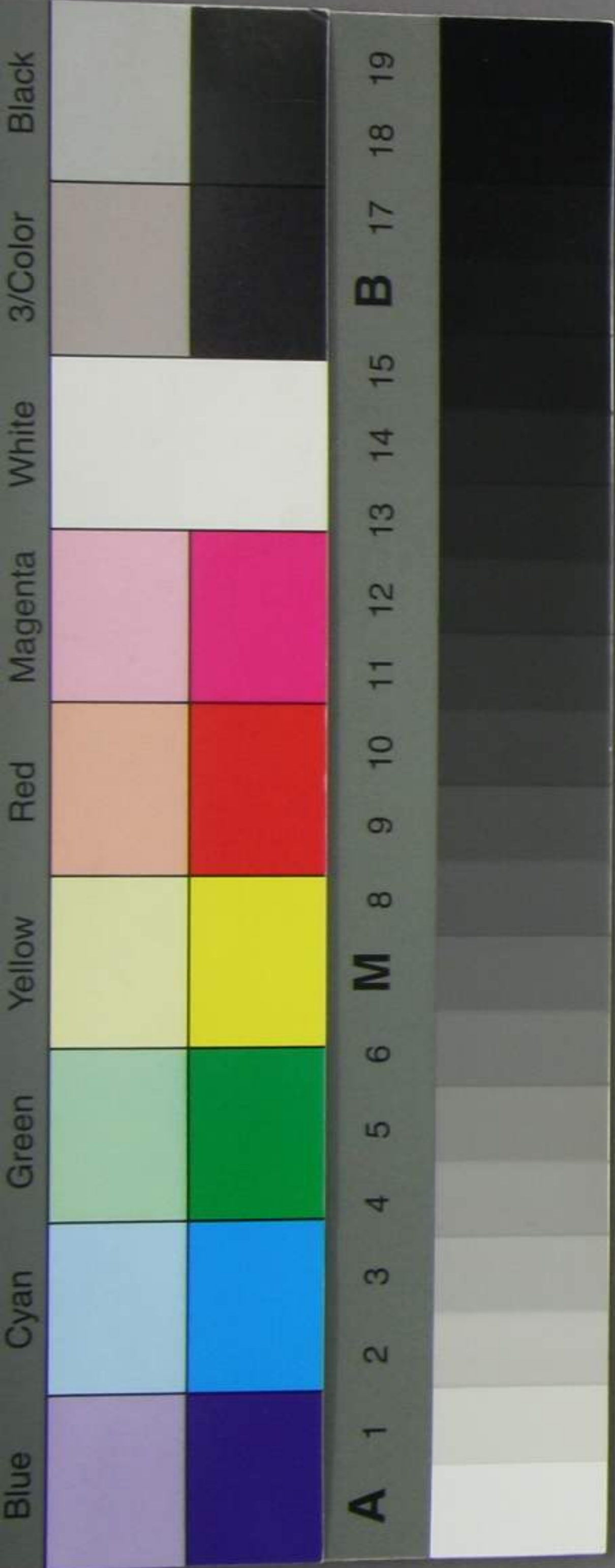


114
A 3733



直延取引ハ取引所ノ既得權ニ屬スベキモノニ非ラズ
 按之凡ソ營業ハ法律ニ於テ禁止其他羈束スルニアラサ
 ル外ハ自由ナルコト論ヲ俟タズ今試ニニ取引所法ヲ通
 覽スルニ其第十八條及二十五條ハ本題ヲ決スベキ條項
 ト思料セラル第十八條ニ依レバ取引所ノ賣買取引ハ直取
 引延取引及定期取引ノ三種トスト規定スト虽是レ其法
 文讀テ字ノ如ク唯々取引所ノ賣買取引ナルモノハ斯クノ取
 引ヲ爲ストノ義ヲ定メタルモノニシテ即チ取引所ニ於テ
 爲ス其取引ノ種類ヲ揭示シタルニ過キサルモノ也勿論右
 規定タルヤ取引所ヲシテ三種ノ取引ヲ獨占セシムルニア
 ラサルナリ若シ支レ獨占セシムルノ意ナラバ其如斯ノ特權
 ヲ付與スルコトハ特ニ明言ヲ要スルハ立法上然ラサルヲ得
 サル也一方ニ權利ヲ付與スレバ一方ニ失權ヲ來ス權利ノ



得喪ハ推測ヲ以テ定ムベカラズトハ解釋法ノ大原則トス
ル所ナレバナリ故ニ右規定中ニ斯カル特權ヲ有與セルモノト
ノ解釋ヲ爲スモノアルハ是レ其法文ニ無キ特別ノ意義ヲ付
加スルニ當リ解釋ノ範圍ヲ超越スルモ亦甚シト謂フ可シ
而シテ第二十五條ニ於テハ取引所外ニ於テ取引所ノ定期
取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲ爲スヲ得ス
トアルニ付即チ定期取引丈ケハ他ノ者ニ之ヲ爲スヲ禁ジ隨
テ取引所ヲシテ獨占セシメ即チ取引所ニ之レガ特權ヲ與
ルノ結果ヲ生スヘシト雖モ他ノ二種ノ取引ニ就テハ取引所外
ニテ之ヲ爲スコトヲ毫モ禁セサルカ故ニ此二種ノ取引ニ就テハ
營業自由ノ範圍ニ屬セシメアルコト炳乎タル明文其義實
ニ争フベカラサルベシ亦疑フベキノ餘地アル無シ

昨二十九年三月農商務省令第一号ハ前述ノ解釋ニ基キ

發布シタルモノタルコト疑ハズ而シテ東京深川ノ如キ米穀取
引所ノ外ニ現延米市場ノ必要ヲ認メ既ニ之レガ設立ヲ認許セ
リ其認許ノ當否ニ付未ダ曾テ世論ノ湧起セシヲ聞カサルノ
ミナラズ惟フニ其法ノ運用ハ道理ノアル所ト相背馳セサル
所アルモノトス

債々取引所法ヲ按スルニ其主眼トスル所ハ從來ノ經歷ニ徴
シ定期取引ノ利弊ヲ察シ主トシテ之ヲ矯正セン爲メニ出タ
ルヲ知ルベキ也是故ニ第二十五條ニ於テ特ニ定期取引ニ限リ
他ノ者ヲシテ假令類似ノ方法タリトモ之ヲ爲スヲ一切嚴禁
シ取引所ヲシテ獨リ之ヲ爲サシムルノ特權ヲ畫定シタル
所以也即チ直取引延取引ノ二種ニ就テハ特權ノ附與アル
ナク第十八條ニ於テ此二種ノ取引ヲ加ヘタルハ畢竟定期
取引所ニ附隨セシメタルニ過キサルノミ

